

科目名	経済学特講		担当教員	宮川 典之	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED4SSE406
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	「経済学概論II」で学んだ一次産品問題の基本事項を基礎にして、さらにこのテーマの学習を深めることができます。まず歴史的なトピックから世界商品となった一次産品のグローバル・バリュー・チェーンの歴史過程が理解でき、具体的なかたち（たとえばチョコレート、コーヒー、砂糖など）で生産・流通・消費のプロセスについて学校現場で教材として活かせるようになります。				
授業の概要	まず一次産品について基本的理解を確認します。代表的な一次産品のグローバル・バリュー・チェーンを紹介し、そこにどのような社会科学的問題があるかを考えます。そのことに関連する書籍を順次紹介し、そこに歴史過程が含まれていることを広い視野で考察します。とくに経済学的要素にポイントをおき、生産・流通・貿易・消費のプロセスに国家や企業もしくは多国籍企業がどのように関わっているかを考えます。歴史的トピックは高等学校で学んだできごとを参照しながら、その含意を理解するようにサポートする予定です。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション（一次産品問題の確認）
第2回	グローバル・バリュー・チェーンの基本的理解
第3回	世界商品としての一次産品
第4回	現代の代表的な一次産品のコモディティ・チェーン
第5回	一次産品に関する多国籍企業
第6回	石油・鉱物・穀物のメジャー
第7回	歴史的トピック： 再版農奴制
第8回	歴史的トピック： 穀物法論争
第9回	歴史的トピック： アイルランドのジャガイモ
第10回	歴史的トピック： 内戦以前のアメリカ南部と北部
第11回	歴史的トピック： 一次産品に関連する移民問題
第12回	歴史的トピック： インクルマ政権期のガーナの一次産品問題
第13回	マックス・ヴェーバーと一次産品問題
第14回	現在の一次産品問題
第15回	まとめ

事前学修	2時間	授業であつかう予定箇所をテキストで予習をしておくようにしましょう。
事後学修	2時間	授業であつかった箇所についてポイントをよく整理して、復習を心がけましょう。授業で紹介した参考資料・文献に自ら取り組むようにする姿勢が求められます。
フィードバックの方法	質疑応答用紙に気になるところを記述してもらい、適宜回答する	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	100%	一次産品関連書について2000字相当で提出
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
一次産品問題を考える	宮川 典之	文真堂	9784830946547	なし
参考資料				